

バイオガス事業化へ

兼松など11社が合同会社

兼松や出光興産など11社は15日、バイオガスの回収や精製、供給などを事業化するため合同会社「バイオガス・ネット・

ジャパン」を16日に設立すると発表した。資本金は110万円で各社が9・1%ずつ出資。兼松が代表社員となる。2、3

年後をめどに株式会社化も視野に入れる。

新設する合同会社は、

エネルギー関連企業や設備企業など約30社が05年に設立した「バイオガス・ネットワーク・コンソーシアム」を発展的に解消したもの。同コンソー

シアムでバイオガスの精製技術や圧縮容器への充填技術などを確立したことで事業化に踏み切ることにした。

2015年度で230億円の売り上げ規模を目指す。

まず精製技術をコアとし、食品工場や廃棄物処理工場、畜産農家などバイオガス発生源と、各種工場や運送会社など需要家とを結びつけることで

バイオガス利用のネットワークを構築する。

また参画企業である市川環境エンジニアリング

による輸送用燃料への利用などにも着手し、自動車用への需要拡大も狙う。